

謹賀新年

皆さま明けましておめでとうございます。令和の時代に入り、初めて迎える新年。今年も区民の皆さまとがっつりとスクラムを組み、力強く区政を進めてまいります。

さあ今年はいよいよ東京2020オリンピック・パラリンピックがやって来ます！記念すべき年の始まりに当たり、スポーツのみならず幅広いフィールドで活躍されている元ラグビー日本代表キャプテン・廣瀬俊朗さんをお招きし、さまざまなテーマについて語らせていただきました。

江戸川区長 齊藤 猛

新春対談 ラグビーから学んだ共生 ～支え、支えられる社会を目指し～



元ラグビー日本代表
キャプテン
廣瀬 俊朗さん

江戸川区長
齊藤 猛

区長 明けましておめでとうございます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

廣瀬 明けましておめでとうございます。こちらこそよろしくお祈りいたします。

——まずは、ラグーマンでもある**斉藤区長、廣瀬さんをお迎えしていかがですか。**

区長 日本ラグビー界の最高峰の存在ですから、最高の気持ちです。昨年、区陸上競技場でドラマ「ノーサイド・ゲーム」(TBS系)のロケで初めてお会いし、改めてこうした機会をいただけて大変光栄です。

あのドラマでは廣瀬さんは一番のキーマンの役回りで、迫力のある演技をされていました。俳優デビューはといったいどのような経緯だったのですか？

廣瀬 当初はラグビーの場面の監修をやるとい



江戸川区長 **斉藤 猛**

もう一つはもちろん、2019年ラグビーワールドカップに向けてラグビーをもっと多くの人に知ってもらおうということで、それを聞いて僕も全力でやってみようという思いになりました。

区長 区の陸上競技場が舞台となった回では、廣瀬さん演じる浜畑謙がまさに全力で疾走する見せ場がありましたね。

廣瀬 あれは80メートルくらい走ってるんですけど、ロケでは「一体、何回やらせるんや」と弱音が出るくらい走られました(笑)。それにあのシーンはタックルの演技も多く、演技というけど本物のラグーマンが手抜きなしで当たってくるわけです。無我夢中の試合モードのときは走ってずっと痛みが来る。ある意味、本物の試合よりもきついのがありました。

区長 きっちり40分ハーフで終わるなんてこともありませんからね。

廣瀬 ロケは大概、朝から晩までやりましたから収録でヘトヘトになった身に、都内にある江戸川区陸上競技場のアクセスの良さがどんなにありがたかったことか。

ラグビーの“精神性” 伝えられた

——そのドラマによる事前の盛り上げのおかげもあって、ラグビーワールドカップ日本大会は、世界的にも高い評価を受ける大成功の大会となりました。

廣瀬 初めてのアジア地域での開催ということで懸念もされたようですが、お客さんはたくさん入りましたし、何より海外の選手やファンからも素晴らしい大会だったと言っていたので、本当に大成功だったといえるのではないのでしょうか。「4年に一度じゃない。一生に一度だ。」というキャッチコピーではありましたが、20年以内にもう一度くらいできるのではないかと手応えでしたね。

区長 もともとラグビーの客席は応援するチームに関係なく入り混じって座るので、皆が一体となって試合を楽しもうという雰囲気が印象的でした。

さらに試合後の選手がチームに関係なく一列になって日本式のお辞儀を披露したことや、敗者が花道を作って勝者を送り出す場面も話題となりました。まさに試合が終われば敵も味方も

という落胆があったにもかかわらず、釜石にとどまって泥掃除のボランティアを買って出てくれたことは大きな称賛を浴びましたね。

廣瀬 ラグビーを愛するからこそ「ラグビーより大事なことがあるんや」という、人間として重要な意識がラグビー選手には養われているということではないでしょうか。

リーチ主将みたいにできなくても

——お二人がラグビーを始めた契機は何だったのでしょうか。

区長 私は高校入学後、ラグビー部に飛び込んだのが最初です。顧問は書道部の先生が掛け持ってくれたものの、「俺はラグビーのことは分からないから」とまるっきりの放任。だから自分たちでルールを学び、練習法や作戦を研究しなければなりませんでしたが、まさに一から積み上げるという楽しさがありました。

廣瀬さんは幼い頃に始められたそうですね。

廣瀬 地元・吹田市(大阪府)のラグビースクールに両親の勧めで通い始めたのが5歳の時です。スクールといっても最初は楯門球持っの鬼ごっこやキックベースで遊んでいたような具合で、ラグビーよりも練習後の豚汁やお汁粉が楽しみで通っていたようなものでした。それがだんだん夢中になって、中学、高校…と続けることになりました。

区長 廣瀬さんは高校での部活や高校日本代表、進学した慶應大学、社会人になってからも東芝、そして日本代表と全てのチームでキャプテンを経験されています。その経験を通じて、理想のキャプテン像というようなものをお持ちですか？

廣瀬 リーダーシップの形は一つではないんだ



ラグビースクール時代、ボールを持って走る廣瀬さん

誰もがありのまま、自分のまま コインの裏表のようにつながる社会

う話だったはずなのですが、いざオーディションの場に行ってみたら台本が出てきて、読み合わせのようなものがあり、それでバツと決まっちゃったんです。その後は特訓を重ねて収録に臨みまして、まあ上手い下手はともかく、何とか最後までやり切ったということで…。

区長 毎回、感動しながら見ていました。毎週日曜の放映でしたから、私を含めて「また月曜日から頑張ろう！」って元気づけられた人がたくさんいらしたと思います。



区陸上競技場での撮影。区長と廣瀬さん。

ないという、「ノーサイド」の精神を見た思いです。

廣瀬 人間はつらい時にこそ真価が問われるといます。負けてしまったら心の中では相当な悔しさがあるわけけれども、そこで相手の健闘を称賛できるということに、彼らの人間性の素晴らしさを痛感しましたね。世界中で共有されているラグビー憲章というものがあって、この中の「リスペクト(尊重)」をまさに見せてくれたといえるでしょう。

また、お辞儀にしても、ラグビーにはもともと自分とは違う文化を受け入れ、喜んでもらえるなら時にそれをやってみようというところもある。大会から時間がたっても日本で「ラグビーっていいね」と言ってもらえるのは、ラグビーというものがそうした精神性をみんな大事にしているスポーツだということが伝わった証で、とてもうれしく思っています。

区長 そうした精神性というのはスタジアムの外でも垣間見ることができました。大会期間中、台風の直撃が日本各地に甚大な被害をもたらしたわけですが、例えばカナダ代表が台風のために1次リーグ最終戦を戦えないまま敗退が決ま



(左下からつづく)

ろうなと思っています。例えば今回のワールドカップでの大躍進を引っ張ったリーチ・マイケル。彼はプレーヤーとして秀でているから、献身的にフィールドを駆け回る姿だけでもチームを引っ張っていきけるタイプです。僕はといえばプレーは大したことがないから彼のようにはできなかった。その分、みんなが「このチームのために頑張ろう」と思えるような空気を作るこ

ラグビーは社会の課題を一足先に知り、乗り越え、モデルを示した



キャプテンを務めた北野高校時代(中央が廣瀬さん)

とに努める、環境整備型とでもいいたいでしょう。キャプテンといっても人それぞれ違っていいわけで、自分なりのスタイルを知ろうとする旅を続けるのがキャプテンの宿命のかなと思っています。

——著書『なんのために勝つか。』の冒頭では、南アフリカ戦のメンバーに選ばれなかった悔しさの中で、廣瀬さんが戦術データの分析や出場メンバーへの激励ビデオの作成に取り組みながら、チームへの貢献の在り方を思索された様子をつづっていらっしゃいます。

廣瀬 あの時当然悔しい思いもありましたけれども、自分にしかできない役割をずっと頑張っていて、それまでのキャプテンとしての立場とは違った形でチームに貢献できたという自負とうれしさがありました。

区長 そもそもラグビーというスポーツには、ありのままの自分を変えなくとも活躍できる、違いを受け止めるという素地がありますね。

日本代表メンバーを見ても明白のように、選

手の体格一つとってもいろいろです。大柄で当たりが強い人、小兵で小回りが利き、どこでも駆け付けてボールに絡む人、ひたすら足の速い人…。

廣瀬 僕は30年間ラグビーをやってきましたけれど、自分では一度もスクラムに加わったことがありません。その代わりにスクラムを担うメンバーがしっかり押せるよう、試合中、彼らをサポート

本のファンが海外からのお客さんと一緒に各国の歌を歌うことができた日本人も最高に楽しいし、お客さんに寄り添うという観点でも最高のおもてなしになるんじゃないかと考えたのがあのプロジェクトです。

区長 子どもたちも歌っていました。たとえば言葉が分からなくても歌なら覚えて歌うことができますから。



元ラグビー日本代表キャプテン **廣瀬 俊朗さん**



2012年のサモアとの代表戦でボールを手に突進(CJRFU)

日本中で相手の国歌を歌えたら

区長 多国籍といえば、ワールドカップでは日本の観客がゲスト国の国歌やラグビーアンセム(賛歌)を歌い、盛り上がっている光景が頻繁にクローズアップされました。その陰には廣瀬さんが仕掛けた、各代表チームの歌を日本で普及させる「スクラムユニゾン」の取り組みがありました。

廣瀬 日本代表キャプテンの時、「君が代」が歌えない選手がいたので、みんなで歌って練習する場を設けたことがあります。この時に肩を組んで歌うことがどれほど人と人との距離を縮める効果があるか、さらには、自分とは違ったバックグラウンドの人に対してこちらから寄り添っていくことがいかに大切かを学びました。日本でのワールドカップ開催に当たって、日

1981年大阪府生まれ。5歳の時にラグビーを始め、北野高校を経て慶應義塾大学理工学部に進学。99年度U19日本代表、高校日本代表に選出される。2004年に東芝に入社し、2年目からレギュラーとして活躍。07年主将就任(07-11年度)。08-09、09-10シーズンではトップリーグプレーオフ優勝を果たす。07年日本代表入り。15年ラグビーワールドカップでは、日本代表史上初の同一大会3勝に貢献。著書に「なんのために勝つか。」(東洋館出版社)、「ラグビー知的観戦のすすめ」(角川新書)。

廣瀬 国歌やアンセムには各国の生い立ちや歴史がこもっていて、例えば優勝した南アフリカは多民族であることを反映し、国歌の歌詞は5つの言語で構成されています。歌うことを通じて子どもたちがそうしたことも学べたことは、あの大会の一つのレガシーになったのではないのでしょうか。

2020年はいよいよ東京でのオリンピック・パラリンピックですから、参加する国・地域の全部となるとさすがに大変だけれど、例えば江戸



各国の国歌などを歌うプロジェクト「スクラムユニゾン」の仲間、田中美里さん(左)、村田匠さん(右)と

(3面からつづく)

川区で開催されるカヌー・スラローム競技の全参加国だけでも各小中学校でフォローするような取り組みをやったら面白いのではないのでしょうか。

区長 まさにこちらから「寄り添う」、素晴らしいアイデアですね。

体験すれば見えてくる

——東京2020大会に向けて、廣瀬さんはラグビーつながりで車いすラグビーの普及に携わっていらっしゃいます。

廣瀬 車いすラグビーは障害の程度によって持ち点が割り振られていて、ぐんぐん動き回って切り込んで攻撃していく選手もいれば、ボールを持たないが、味方の選手の道を作る役割の人もいたりとうまい具合に分担されている、知れば知るほど見どころのある競技です。

他にもパラスポーツの魅力は実際に自身で体験してみないと分からないところが多いので、皆さんにはぜひさまざまな機会を捉えてチャレンジしてみしてほしいですね。

区長 江戸川区ではさまざまなイベントでパラスポーツの体験ブースを用意してまして、直近では車いすラグビーのタックル体験コーナーは大好評でした。パラリンピックでは22競技が行われますから、これからもできるだけ多くの競技が体験できる機会を提供していきたいと思っています。

廣瀬 車いすを動かしながらテニスやバドミントンのラケットを振るのがどれだけ難しいか、やってみればすぐに理解することができます。それから、例えば視覚障害のある方がプレーするブラインドサッカーでは、選手はボールの位置を知るのも仲間とのコミュニケーションも音が頼りなので、プレー中、客席では静かにするのがマナーです。客席のみ

などで“心の声で応援する”という経験は、応援の固定概念を変えてくれるきっかけになりました。

そうした体験は競技の魅力に加え、広くバリアフリーの課題についての気付きももたらしてくれるはずで。例えば街中で車いすの方向けにスロープのある施設は増えているけれども、実際に自分で車いすに乗ったり押したりした経験があると、「いやこの角度やったら自分はいけるかもしれないけど、おじいちゃんにはちょっと無理やろ」というようにリアルな課題が見えてきます。



区長 当事者の方の視点を共有することがいかに大事かということですね。例えば江戸川区では車いすやベビーカーの方が移動しやすいように車道と歩道の段差を解消する事業を進めていますが、一方で視覚障害のある方からは、「段差がないと歩道と車道の継ぎ目が分からず危険だ」との声をいただきました。それならばということで、段差を解消したところには必ず点字ブロックを置くようにして、誰もが暮らしやすい解決策にたどり着いた経緯があります。

障害のある方、あるいは熟年者の方とはともすると「支えられる側」に位置付けられがち

ですが、それぞれの立場に配慮したバリアフリーが進めば、「支える側」としても社会と接する可能性が広がってきます。

「人生100年時代」といわれる中で、スポーツへの関心の高まりには健康や介護予防といった観点でも期待をしていますが、パラリンピックを迎えることを契機に、いま廣瀬さんにお示しいただいたような社会への効用もすっかりフォローしていきたいと思えます。

スポーツの喜び伝える1年に

——対談の終わりに、お二人の新年の抱負をお聞かせください。

廣瀬 2019年を振り返ると、自国開催のワールドカップというこの上ない好機を捉えて多くの日本の方々に「ラグビーっていいな」「スポーツっていいな」と思ってもらったための一翼を担えたのではないかと思います。迎えた2020年は東京オリンピック・パラリンピックの年ですから、さまざまなスポーツを通じて皆さんが人生を豊かに、楽しいものことに貢献できたらと思っています。

また、スポーツ界全体が注目を集める機会が増えるでしょうから、アスリートの引退後のキャリアをどう示すかという課題に対し、僕自身が一人の元アスリートとしてそのロールモデルとなるような、そんな1年にもできればうれしいですね。

区長 オリンピック・パラリンピックを迎えるに当たり、その喜びを全区民で共有できる1年にしたいと思っています。特にパラリンピックについては、今日の対談で廣瀬さんから重要なヒントをいただきました。誰もが活躍できる、まさに“One Team”になるまちづくりを区民の皆さまと頑張っていきたいと思います。本日はどうもありがとうございました。

廣瀬 ありがとうございました。

夜間・休日急病診療

受診の際は、健康保険証などを持参してください

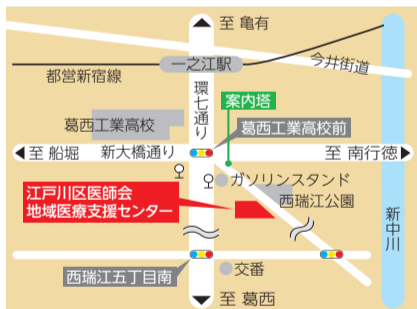
◎当番医・接(整)骨院は変更になる場合があります。

江戸川区医師会夜間・休日急病診療所(小児科・内科のみ)

診療時間 毎日21時～翌朝6時
1月5日(日)までの9時～17時

場内江戸川区医師会地域医療支援センター(西瑞江5-1-6) ☎5667-7775

※応急処置のため、薬の処方是最小限となります。
※電話番号をよく確認し、特に夜間は電話のかけ間違いにご注意ください。



医療機関のご案内

- 江戸川区医師会休日診療テレホンセンター(日祝9時～17時) ☎・☎5667-7557
- 東京都保健医療情報センター「ひまわり」(24時間) ☎5272-0303/☎5285-8080
- 東京消防庁救急相談センター(24時間) ☎#7119/ダイヤル回線☎3212-2323

江戸川区歯科医師会休日歯科応急診療所(要予約)

診療時間 1月5日(日)までの9時～17時(受け付けは16時30分まで)
場内江戸川区歯科医師会館(東小岩4-8-6) ☎・☎3672-8215

えどがわ区民ニュース 新春1月号放映中!

新春対談

廣瀬 俊朗さん × 斉藤 区長

多様性を受け入れ
ひとつになる
～ラグビーから学ぶ
ONE TEAMの精神～



ホームページとCATVで放映中!

◎J:COM江戸川11チャンネル(☎9時から/12時から/20時から)



☎ DVDなどの貸し出し・申し込み☎映像広報係 ☎5662-6167

休日急病当番医(急病のみ、往診不可) 診療時間9時～17時

小児科 内科 眼科 耳鼻咽喉科 ※外科は、救急病院をご利用ください。

1月2日(日)	小児科	きむらクリニック	西一之江3-12-19	☎3674-6600
	内科	辰巳内科消化器科クリニック	一之江7-35-22	☎5678-5115
	眼科	北澤耳鼻咽喉科医院	西小岩3-32-13	☎3673-8733
	眼科	小岩医院	東小岩6-21-5	☎3657-1378
1月3日(金)	眼科	市原眼科	中央2-17-24	☎3653-1064
	眼科	北澤耳鼻咽喉科医院	西小岩3-32-13	☎3673-8733
	内科	辰巳内科消化器科クリニック	一之江7-35-22	☎5678-5115
	内科	西村記念病院	平井3-25-17	☎3638-2301
1月4日(土)	内科	速水医院	北小岩6-47-6	☎3672-6759
	内科	江戸川共済病院	南篠崎町1-2-16	☎3679-5211
	眼科	市原眼科	中央2-17-24	☎3653-1064
	眼科	赤上医院	南小岩7-18-13	☎3657-1435
1月5日(日)	小児科	星田小児クリニック	中葛西2-3-10	☎3680-2028
	内科	渡辺クリニック	南小岩5-20-15	☎3657-6284
	内科	佐藤医院	東小岩5-20-12	☎3657-1414
	内科	田中医院	平井6-30-1	☎3612-3352
1月5日(日)	眼科	市原眼科	中央2-17-24	☎3653-1064
	眼科	しのぎ耳鼻咽喉科クリニック	篠崎町2-7-1	☎5243-8177
	小児科	葛西小児科	東葛西6-23-17	☎5675-2501
	小児科	目々澤醫院	北小岩4-5-8	☎3657-5470
1月5日(日)	内科	徳永医院	南小岩3-10-10	☎3657-4652
	内科	英診療所	中央3-20-10	☎5661-5888
	内科	一之江駅前クリニック	一之江8-15-17	☎5661-5150
	眼科	平嶋胃腸科眼科	東瑞江1-26-13	☎3698-1241
眼科	山崎耳鼻咽喉科診療所	北小岩6-9-6	☎3658-0636	

休日応急当番接(整)骨院(施術時間9時～17時)

1月2日(日)	葛西橋整骨院	西葛西1-11-6	☎3687-6604
	おかべ整骨院	鹿骨4-5-3	☎5243-9977
1月3日(金)	斉藤接骨院	上一色2-17-2	☎3653-6730
	アルファ整復院	船堀2-11-8	☎3687-2741
1月5日(日)	春江接骨院	一之江8-10-14	☎5607-1989
	さくら大内整骨院	篠崎町2-1-5	☎3670-4172